

国語科が育てたい児童・生徒像	思いやりのある児童 自分の考えと相手の考えの違いを理解し、自分の意見を伝えることができる。
----------------	---

1年生

月	学習項目	学習目標・学習内容	探究 【Ⅰ】仮説検証型【Ⅱ】グローバル型 【Ⅲ】創造表現型【Ⅳ】その他
4	①いいんき ②どんなおはなしかな ③なんていおうかな ④どうぞよろしく ⑤こえのおおきさどうするの ⑥うたにあわせて あいうえお	①絵を見て、見つけたこと、想像したことを話す。 ②本や作品の読み聞かせを、想像を膨らませながら楽しく聞く。 ③相手や場面に応じて、適切な言葉遣いで話す。 ④友達に知ってもらいたいことを考え、自己紹介する。 ⑤場面に合わせた声の大きさを話す。 ⑥話のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する。	【Ⅲ】④創意工夫して、印象的な自己紹介を行う。⑥オリジナル50音歌作り
5	①こえにだしてよもう ②ききたいな、ともだちのはなし ③たのしいな、ことばあそび ④はなのみち ⑤かきとかけ ⑥ぶんをつくらう ⑦ねことねっこ	①音節と文字の関係に気付く。 ②絵を見ながら、型に合わせて尋ねたり、質問に答える。 ③身の回りの生活と関係している言葉を考える。 ④話のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する。 ⑤平仮名で濁音を含む単語を書く。 ⑥主語と述語の関係に注意して、「～が、～する。」という文型の文を書く。 ⑦促音や半濁音のある言葉を見つけて、正しく書く。	【Ⅰ】④はなのみちは、どうしてできたのだろうか？ 【Ⅲ】⑤⑦ことばを楽しんで変身させてみる。
6	①わけをはなそう ②おばさんとおばあさん ③くちばし ④おもちゃとおもちや ⑤あいうえおであそぼう ⑥おおきなかぶ	①気持ちを話したあとに、そのわけを話す。 ②長音のある言葉を集め、読み書きするとともに、助詞「を」を文の中で正しく使う。 ③説明の順序や内容を考えながら読む。 ④拗音のある言葉を集め、読み書きするとともに、助詞「へ」を文の中で正しく使う。 ⑤はつきりした発音や口形に気を付けて声を出す。 ⑥繰り返しの言葉や文章のリズムを生かして、音読する。	【Ⅰ】③自分のくちと他の動物のくちばしのちがいは？
7	①はをへをつかおう ②すきなもの、なかに ③おむすびころりん	①語と語をつなぐ助詞「は」「を」「へ」を正しく使って文を書く。 ②「好きなこと」と「その理由」を文と文の続き方に注意しながら2文を書く。 ③語や文としてのまとまりや内容、文のリズムに注意しながら声に出して読む。	【Ⅲ】①「は・を・へ」のちがいはって？ ②「自分の大好き」プレゼン大会 【Ⅰ】③おむすびころりん すっどんとん～は、どんな大ききで読むといいんだろう？
9	①ききたいな、ともだちのはなし ②やくそく ③かたかなをみつけよう ④うみのかくれんぼ	①経験の中からみんなに話したいことを選び、話の順序を考えながら話す。 ②登場人物の行動を中心に想像を広げながら読む。 ③片仮名の語を正しく読み、片仮名で書く言葉を見つけて書く。 ④事柄や順序や文章構成上の順序を考えながら読む。	【Ⅲ】③世界旅行をした気分でカタカナの言葉を見つけ、それを使った文を書く。 ASIに向けて、ASIに関する疑問→予想→検証 【Ⅳ】①夏休みの思い出についてプレゼンする。
10	①かざとかんじ ②くじらくも ③しらせたいな、見せたいな ④まちかいはなをさそう ⑤かん字のはなし	①一から十までの漢字を読んだり、書いたりする。 ②場面の様子を想像し、その様子が表れるように声に出して読む。 ③書こうとする題材に必要な事柄をよく観察し、文を書く。 ④書いた文章を読み返したり、間違いを正しく直したりする。 ⑤第一学年に配当されている漢字を読んだり書いたりし、漢字を使った文を書く。	【Ⅲ】③1学年の生活科と関連させて、さつまいもの観察文を書き、親に知らせる。
11	①じどう車くらべ ②かたかなをかこう ③ともだちに、きいてみよう	①知識を得るために、事柄の順序を考えながら内容を読み、本や文から文を書き抜く。 ②片仮名の語を正しく読み、片仮名で書く言葉を見つけて書く。 ③話す順序を考えながら丁寧な言葉で話したり、大事なことを落とさずに聞いたりする。	【Ⅰ】①どんな自動車があるか。どんな自動車があったらいいか。
12	①おかゆのおなべ ②ものなまえ ③日づけとよう日	①読み聞かせを聞きながら、昔話を楽しみ、感想を伝え合う。 ②意味による語句のまとまりや、上位語・下位語の関係に気付く。 ③日づけや曜日の歌を楽しく唱えながら、語句の意味やまとまりに気付く。	【Ⅲ】②論理エンジンとの関連。上位語、下位語の混ざった言葉を分けたらどんなグループになるか。
1	①たぬきの系車 ②おみせやさんごっこ ③かたかなのかたち ④ことばを見つけよう	①場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げ、楽しんで読む。 ②客と店の人になって売り買いややり取りをし、尋ねたり応答したりする。 ③平仮名と片仮名を関係付け、形の似た片仮名に注意して書く。 ④音節と文字の関係や、単語とそれを構成する文字の関係に気付く。	【Ⅳ】②〇〇な(コンセプトに沿った)お店を開くには、どうしたら良いか。
2	①これはなんでしょう ②どうぶつのお赤ちゃん ③ずうっと、ずっと、大すきだよ	①話題に沿って話し合い、分からないことを尋ねたり、それに答えたりする。 ②物語の登場人物の行動を中心に想像を広げ、好きなところを見つけながら読む。 ③時間的な順序や事柄の順序を考えながら、内容を読み、本文章から書き抜く。	【Ⅰ】②自分と動物のお赤ちゃんのころの違いは何だろう。 【Ⅰ】③主人公は誰か。本文の最後「ずうっと、ずっと、だいすきだよ。」は誰に向けた言葉か。
3	①にているかん字 ②だってだっておばあさん ③いいこといっぱい一年生 ④きれいな字を書こう	①形や書き順に注意し、第一学年の配当漢字を正しく読んだり書いたりする。 ②登場人物の行動を中心に想像を広げ、好きなところを見つけながら読む。 ③経験したことから書く題材を決め、必要な事柄を集め、順序立てて書く。 ④字形に注意しながら、丁寧にきれいな字を書く。	【Ⅲ】③事実と自分の感想をまとめる。

国語科が育てたい児童・生徒像	思いやりのある児童 自分の考えと相手の考えの違いを理解し、自分の意見を伝えることができる。
----------------	---

2年生

月	学習項目	学習目標・学習内容	探究 【Ⅰ】仮説検証型【Ⅱ】グローバル型 【Ⅲ】創造表現型【Ⅳ】その他
4	①ふきのとう ②春がいっぱい ③きょうのできごと	①お話を読み、登場人物、行動、会話を捉える。 ②何を見たときに春の訪れを感じるか、友達と話し合う。 ③身近な話題で日記を書く。	【Ⅲ】ふきのとう 心情を考え、言葉で表現し、演技をしてみる。
5	①ともだちをさがそう ②いなばの白うさぎ ③たんばぼのちえ ④かんさつ名人になろう	①大事なことを落とさず、話したり、聞いたりできるようにする。 ②昔話や神話に興味を持ち、お話を聞く。 ③お話を読み、たんばぼのちえ、そのわけ、感想をまとめる。 ④文を参考にして、観察するものを決め、観察記録文を書く。	【Ⅰ】たんばぼのちえ 教科書に載っていないぎもんをグループで出し、調べることで検証する。(西洋タンポポから、たんばぼの種類は何種類あるの?)
6	①同じ ぶぶんをもつかん字 ②スイミー ③メモをとるとき	①漢字の同じ部分・形などに気が付く。 ②お話を読み、登場人物の行動、会話に注目しながら、「はじめ」「中」「おわり」の構造を捉える。例えの表現を使って、文章を書く。 ③メモの役割や利点を理解し、使えるようになる。	【Ⅳ】スイミー 話全体を通して作者が伝えたいことを話し合い、お互いの意見を認め合う活動。【Ⅲ】スイミー 様々な比喻表現を知り、自分の、表現に活用する。【Ⅲ】スイミー 自分で「スイミーが見て元気が出た海の生物」を想像して絵を描く。
7	①こんなもの、見つけたよ ②うれしいことば ③夏がいっぱい ④ミリーのすてきなぼうし	①組み立てを考えて、友達に知らせたい文章を書く。 ②言われると嬉しい言葉を集め、積極的に使う。 ③夏らしいと感じる言葉を集め、カードを作る。	【Ⅲ】ミリーのすてきな帽子 自分だったらどんな帽子がほしいか想像して絵と文で説明する。
9	①雨のうた ②あったらいいな、こんなもの ③ことばでみちあんない ④どうぶつ園のじゅうい	①語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて詩を音読する。 ②想像力を働かせ、自分があったらいいなと思うものを考え、発表する。 ③図を言葉で説明する活動を通し、より良い対話の方法を考える。 ④説明文を読み、「いつ」「わけ」に気づくにはどんな言葉に目をつけて読めばいいかを考える。	【Ⅰ】動物園の獣医 教科書に載っていない獣医の仕事、想像し、その仕事が本当にあるか調べて検証する。
10	①お手紙 ②秋がいっぱい ③お話のさくしゃになろう	①お話を読んで、グループで音読劇の発表をする。受け取った人がうれしい気持ちになる手紙を書く。 ②秋にかかわる身近なものを表す言葉に興味を持ち、秋らしいものについて話し合う。 ③句読点や「」を正しく使い、作者になって、お話を作る。	【Ⅰ】お手紙 かえるくんはどうしてお手紙を出したことを黙っていたのか理由を考えて話し合う。
11	①そうだんにのってください ②馬のおもちゃの作り方 ③おもちゃの作り方をせつめいしよう	①より良い話し合いはどのようなものか考え、実行する。 ②文を読み、馬のおもちゃを作り、「説明のしかた」について意識を持つ。 ③おもちゃの作り方の手順に沿って、絵を用いながら文章を書く。	【Ⅲ】順序を考えて正しく接続詞を使い、文章でわかりやすく説明することができる。
12	①わたしはおねえさん ②冬がいっぱい	①登場人物の行動や場面の様子から想像を広げながら読み、自分の経験と結び付けて、感想を持つ。 ②冬(年末年始)の伝統文化にかかわる言葉を知る。	【Ⅰ】「わたしはおねえさん」の主人公が妹の落書きを消さなかった理由を話し合う。
1	①おにごっこ ②ようすをあらわすことば ③見たこと、かんじたこと	①「おにごっこ」を説明する文章を読み、自分の経験を結び付けて、思いや考えを発表する。 ②様々な様子を表す言葉について知り、言葉への興味を広げる。 ③様子を表す言葉の使い方に注意して、文章を参考にして詩を書く。	【Ⅲ】おにごっこ 話し合い活動を通して、オリジナルおにごっこを考え、みんなで楽しむ。
2	①スーホの白い馬 ②ローマ字	①場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読み、自分の感想の中心を捉える。 ②仲間の言葉や漢字を知り、文章の中で正しく使う。	【Ⅱ】モンゴルの歴史や文化に触れることにより、異文化への興味や理解しようとする姿勢を育む。
3	①楽しかったよ、二年生	①二年生の思い出から書く事柄を決め、書こうとする題材に必要な事柄を集める。楽しかったことの中から「明確になるように、「はじめ・中・おわり」の構成で、ひとまとまりの文章を書く。	【Ⅳ】タブレット学習の導入として、ローマ字入力ができるようにする。

国語科が育てたい児童・生徒像	思いやりのある児童 自分の考えと相手の考えの違いを理解し、自分の意見を伝えることができる。
----------------	---

3年生

月	学習項目	学習目標・学習内容	探究 【Ⅰ】仮説検証型【Ⅱ】グローバル型 【Ⅲ】創造表現型【Ⅳ】その他
4	①よく聞いて、じこしょうかい ②きつつきの商売 ③国語辞典のつかい方	①相手によく分かるようにはっきり話したり、友達の話をよく聞いたりする。 ②場面を構成する要素を確かめ、違いに注意して、音読を工夫する。 ③国語辞典の使い方を理解し、必要に応じて活用する。	【Ⅲ】きつつきの商売 擬声語の捉え方に着目し、場面ごとの様子を思い浮かべ音読する。
5	①漢字の音と訓 ②よい聞き手になろう ③言葉であそぼう ④こまを楽しむ	①漢字には音読みと訓読みがあることを理解する。 ②目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。 ③文章全体の構成「はじめ・中・おわり」を把握し、「段落」について知り、それぞれの段落の内容を捉える。 ④文章の組み立てを意識して、「問い」「答え」が、どの段落に、どのように書かれているか探しながら読む。	【Ⅱ】こまを楽しむ 地域によってなぜ、〇〇ごまは発達したのか？海外のごまってどんなものがあるのか？探究する。 【Ⅰ】色変わりごまを作ってみよう！回すスピードを変えてみたら模様が変わるのかな？色の混ざり方はどんなものがあるのかな？
6	①仕事のくふう、見つけたよ ②まいごのかぎ ③はじめて知ったことを知らせよう「鳥になつたきょうりゅうの話」	①友達に報告する文章を書くために必要な事柄を調べ、示された構成に沿って段落を意識して文章を書く。句読点、中点、グッシュ、「」などの正しい使い方を学ぶ。 ②場面の移り変わりやに注意しながら、登場人物の気持ちの変化を、叙述をもとに想像して読む。 ③積極的に幅広く読書に親しみ、学習課題に沿って、本を読んで驚いたり感心したりしたことを発表しようとする。	【Ⅰ】なぜ、仕事ってあるの？身の回りにある仕事はどのような違いがあるのか？探究する。
7	①俳句を楽しもう ②気持ちをこめて「来てください」	①日本語特有のリズムを感じたりしながら短歌や俳句を音読し、文語の調子に親しむ。 ②目的や必要に応じて、書き方を工夫し、常体と敬体を使い分けて書く。	【Ⅱ】俳句を楽しもう 日本語特有のリズム5・7・5の秘密を探ろう！5・7・5を身の周りから見つけてみよう！
9	①わたしと小鳥とすずと／山のでっぺん ②山小屋で三日間過ごすなら（はんで意見をまどめよう） ③ちいちゃんのかげおくり	①二つの詩を比べながら読み、詩の組み立てや内容がよく分かるように言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して音読する。 ②互いの考えの共通点や相違点を整理し、司会や提案などの役割を果たしながら話し合う。 ③場面の移り変わりに注意しながら読み、人物の行動、情景、会話などの表現に着目して読む。	【Ⅱ】ちいちゃんのかげおくり 戦争について知ろう。戦争で失われたものは何だったか？ちいちゃんにとってのかげおくりとは、場面に出てくる色に着目し、ちいちゃんの心情の変化を読み取ろう。 【Ⅲ】山小屋で3日間過ごすなら グループでアイディアを拡散→収束させてまとめる 【Ⅰ】わたしと小鳥とすずと「みんなちがってみんないい」ちがうってどうゆうこと？何がいいの？
10	①へんとつくり ②すがたをかえる大豆 ③食べ物のみみつを教えます	①漢字のへん、つくりなどの構成についての知識を持つ。 ②中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えてながら、文章の内容を的確に理解する。 ③目的に適した事例を複数挙げながら、説明する文章を書く。	【Ⅲ】食べ物のみみつ教えます「はじめ、中、終わり」の文の組み立てをもとに文章作り。わかりやすい文章とは？【Ⅱ】すがたをかえる大豆 その他の大豆製品を調べる。【Ⅰ】食べ物のみみつを教えます大豆学年テーマ「食の探究」につなげる。【Ⅲ】へんとつくり オリジナル漢字づくり
11	①短歌を楽しもう ②漢字の意味 ③三年とうげ	①知っている言葉を手掛かりにして情景を想像したり、日本語特有のリズムを感じたりしながら短歌を音読し、文語の調子を楽しむ。 ②漢字には意味があることを理解し、前後の文脈から漢字の意味を考えて書いたり、その漢字の意味に合う短文を作ったりする。 ③物語の組み立てを捉え、登場人物の心情の変化や情景を想像する。	【Ⅱ】3年とうげ 韓国の文化にふれることにより他文化を知り、民話の楽しみを知る。誰が最後に歌ったの？トリトルがおじいさんに言ったことは正しかったの？
12	①たから島のぼうげん ②言葉を分類する	①「初め」「中」「終わり」の組み立てを使い、物語の構成を考える。 ②言葉の性質に着目して、言葉を分類する。	【Ⅲ】たから島のぼうげん 主人公、ストーリー、場面を想像し自分のイメージーションを言葉にする。
1	①ありの行列 ②しりょうから分かる、小学生のこと ③カンジーはかせの音訓かるた	①実験と考察に注意しながら段落の内容を読み取り、論の進め方を捉え、文章の内容を簡潔にまとめる。 ②相手を見て、大事な部分や言葉を強調したり、間の取り方に注意したりして話す。 ③3年生で学習する漢字を読む。	【Ⅰ】ありの行列 指示語や、段落のつながりに着目し、なぜありの行列ができるのか考える。【Ⅲ】しりょうからわかる 読書タイムに読んでいる本をつかってビブリオバトル
2	①ことわざについて調べよう ②モチモチの木	①ことわざや故事成語の中から、調べたいことを決め、必要な事柄について本や辞典を読んで調べる。 ②場面ごとの登場人物の行動や会話から、人物の気持ちや性格を捉えて、読む。	【Ⅲ】出来事を通して豆太はどのようにかわったのか。一つのキーワードをもとに豆太の気持ちの変化を読み取る。
3	①わたしたちの学校じまん	①3年生の生活を振り返り、理由や事例を挙げながら、句読点を適切に使い、段落の初めを改行して書く。	

国語科が育てたい児童・生徒像	思いやりのある児童 自分の考えと相手の考えの違いを理解し、自分の意見を伝えることができる。
----------------	---

4年生

月	学習項目	学習目標・学習内容	探究 【Ⅰ】仮説検証型【Ⅱ】グローバル型 【Ⅲ】創造表現型【Ⅳ】その他
4	①白いぼうし ②国語辞典に親しもう ③漢字の組み立て・漢字辞典の使い方	①人物の行動や心情、場面の様子などがよく分かるように工夫する。場面の移り変わりに注意しながら、中心人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読む。 ②③漢字の部首に関する知識を持つ。漢字辞典の使い方を学び、漢字の部首や成り立ちや画数についての知識を持つ。	【Ⅰ】自分たちで「問い」をたて、話し合う活動。「白いぼうし」を読んで、疑問に思ったこと、話し合いたいことを出す。書いてあることから想像し、根拠を挙げて話し合う。
5	①聞き取りメモの工夫 ②アップとルーズで伝える ③短歌・俳句に親しもう	①話を聞くときの姿勢や、大切なことをわかりやすく記録する方法について学ぶ。 ②筆者の考えを読み取るために、事実と意見の関係を捉えて、段落相互の関係を考える。文章を読んで考えたことを発表し合い、友達との考えの明確さなどについて意見を述べ合うとともに、感じ方の違いに気付く。	【Ⅲ】テーマを決め、アップとルーズでわかりやすく伝える活動(ICTを使いプレゼンテーション) また、プレゼンテーションを聞いて、メモを取る活動も行う。
6	①一つの花 ②要約するとき	①場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読む。物語を読んで感じたことや考えたことを発表し合い、友達との感じ方・考え方の違いに気付く。 ②文章の主題や物語の話の中心をおさえ、短い文章で要約することができる。	【Ⅱ】戦争についての知識・理解(現代と戦時中の違いを調べてまとめる)
7	①新聞を作ろう ②事実にもとづいて書かれた本を読もう	①新聞の特徴や工夫について学び、調べてわかったことを、目的や必要に応じて絵や図表などを用いながら、わかりやすくまとめることができる。 ②色々な本や文章を読むことで新しい発見や知識を得ることの楽しさを味わう。読書感想文の書き方についても学ぶ。	【Ⅲ】新聞作り:情報を収集・分析(データ処理)した上で自分の意見をまとめることができる。 【Ⅱ】様々な国際社会の問題に目を向け、自分自身の考えを持つ活動
9	①詩を味わおう ②ごんぎつね ③パンフレットを読もう	①詩の良さ、楽しさを感じる。 ②場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読む。 ③パンフレットの工夫について考え、わかりやすい情報の伝え方について学ぶ。	【Ⅰ】著者探究 新美南吉 なぜ、ごんぎつねを書いたのか。そこに込められた想いは? 【Ⅲ】ごん日記を書こう ごんの気持ちになりきって、叙述をもとに日記を書く。
10	①世界にほこる和紙 ②伝統工芸のよさを伝えよう	①話の中心についてまとめる。フィールドワークにおいて疑問・課題をもつ。 ②フィールドワークで学んだ伝統工芸の魅力や、パンフレットにわかりやすくまとめる。	【Ⅱ】【Ⅲ】飯山の伝統工芸に関するパンフレットを作ろう 仮説検証型のフィールドワークを通して学んだ飯山の伝統工芸の魅力や効果的に伝える方法を学ぶ
11	①お礼の気持ちを伝えよう ②慣用句 ③プラタナスの木	①手紙の型を学び、民宿の方にお礼の気持ちを伝える。 ②慣用句について学ぶ。 ③登場人物の気持ちの変化に注意して読み、作者のメッセージを想像する。	【Ⅰ】プラタナスの木で、作者が伝えたいことは何か? 著者探究 椎名誠について
12	①感動を言葉に ②百人一首に親しもう ③2分の1成人式	①日常生活の中の驚きや感動を振り返り、詩をつくる。 ②百人一首の暗唱に取り組む。源平合戦などを通して、百人一首に親しむ。 ③10年間の自分の歩みを振り返り、将来について考える。	【Ⅲ】進級文集 はじめ中終わりを意識して、プライマリーの思い出をまとめる。自分の伝えたいことを明確にする。順序に気をつけて段落を意識して書く。
1	①ウナギのなぞを追って ②つながりに気をつけよう ③進級文集	①事実と考えの関係を押さえて読み、時系列にそって話の要点をまとめる。 ②進級文集の作成において、論理的でわかりやすい文の書き方を学ぶ。 ③プライマリーの4年間を思い出しながら、自らの成長を振り返り、文章にまとめる。	【Ⅲ】ウナギのなぞを追ってを読み、重要なポイントを年表にまとめる活動。
2	①熟語の意味 ②初雪のふる日	①訓や漢字の組み合わせを手掛かりにして、熟語の意味を考える。 ②場面の移り変わりに注目して読み、表現から感じとったことをまとめる。	
3	一年間のまとめ		